

様式 1

東北大学大学院情報科学研究科 「シンポジウム開催支援経費」実績報告書	
タイトル	「中枢シナプスにおける情報伝達 -分子・細胞レベルの新しいアプローチ」
主催者	生命フラクチュオマティクス論分野 坪川 宏
期日	平成 16 年 11 月 2 日（火）
会場	情報科学研究科 新棟 2 F 大講義室
出席者数（講師・パネリスト等を除く）	30 名
講師・パネリスト等の氏名・勤務先等	狩野 方伸（金沢大学大学院 教授） 酒井 規雄（広島大学大学院 教授） 宮川 博義（東京薬科大学 助教授） 坪川 宏（東北大学大学院 教授）
目的	脳の情報処理を担う機能素子としての神経細胞やグリア細胞の特性について、最新の知見を得るため。
内容	神経細胞の主要な機能であるシナプス伝達に焦点を当て、上記 4 名の講師が最近の研究成果について講演を行った。
情報科学研究科にとっての意義・貢献度	脳機能について従来の定説を覆すような発見や、神経情報の伝達・処理の様式についての新しい概念などが発表され、今後情報科学を展開してゆく上で非常に有意義なシンポジウムであったと考えられる。